

証券コード：4406（東証スタンダード）

2024年3月期上期

決算説明会資料



2023年11月17日

代表取締役 社長執行役員
三浦 芳樹



本日の内容



- 2024年3月期上期 決算概要
- 2024年3月期通期 業績予想
- ESGトピックス
- 参考資料




2024年3月期上期 決算概要（連結）

- 価格競争力の低下により販売数量・売上高は伸び悩む
- 前年度収益に大きく響いた原料調達難が解消し、営業損益は改善


売上高

156 億円

前年同期比△12億円
(△7.1%) 


営業利益 (△は損失)

△1.2 億円

前年同期比+0.8億円
(- %) 

四半期純利益 (△は損失)

△1.1 億円

前年同期比△0.6億円
(- %) 

製品分野

上半期概況

オレオケミカル

- インバウンド需要は回復傾向も、中国経済停滞により工業用途の輸出は低調に推移。
- SAF需要の高まりを受け動物系油脂の原料調達が困難になったため、ステアリン酸の生産を停止（2023年6月）。

可塑剤

- 前年度のボトルネックであった原料調達難は解消。
- 中国経済の回復遅れにより供給過多に陥り、海外市況が下落。

合成樹脂原料

- 自動車生産の回復に伴い、自動車塗料向け製品を中心に堅調推移。
- 半導体材料の需要回復は鈍く、電子材料向けは厳しい状況が続く。

機能性化学品

- 欧州でのポリオレフィン樹脂の需要低迷に伴い、同樹脂向けの結晶核剤の輸出が大きく減速。

2024年3月期 上期業績（連結）

（単位：百万円）

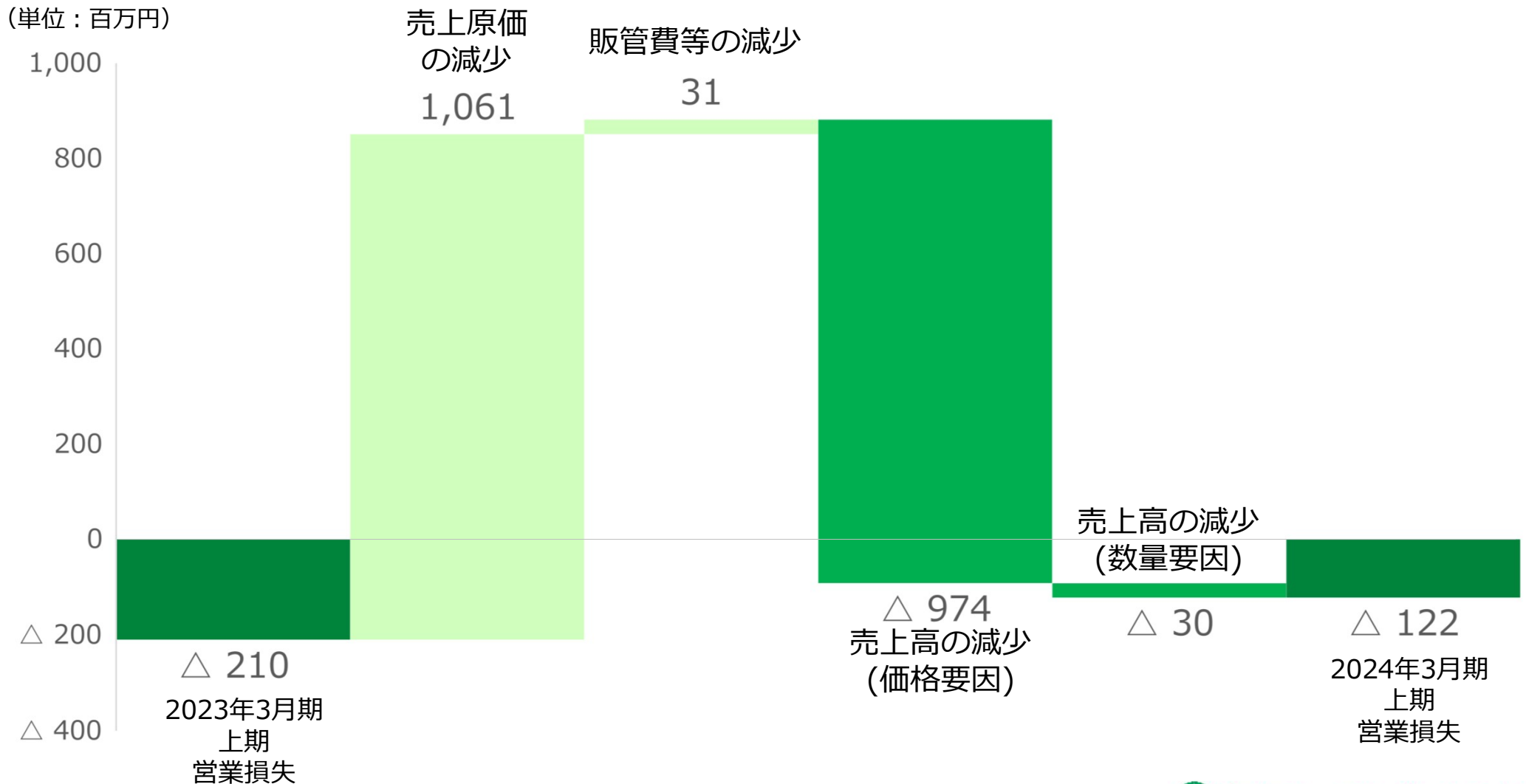
	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比較	
	上期	上期		
売上高	16,861	15,660	△ 1,200	△ 7.1%
営業利益 （△は損失）	△ 210	△ 122	87	-
経常利益	61	95	34	55.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 （△は損失）	△ 47	△ 114	△ 67	-
1株当たり 四半期純利益 （△は損失）	△ 1.27円	△ 3.08円	△ 1.82円	-
国産ナフサ(¥/KL) [※] （7～9月平均）	81,400円	63,600円	△ 17,800円	△ 21.9%

※出展 財務省貿易統計

営業損益の増減要因（対前年同期）

- 原料価格の下落による売上原価の減少が増加要因となったものの、製品価格水準の下落および販売数量の伸び悩みにより、営業損失となった。

(単位：百万円)



営業外損益・特別損益

- 持分法による投資利益の計上などにより、営業外損益は+ 2 億 1 千 8 百万円。
- 事業再編損の計上などにより、特別損益は△ 6 千 7 百万円。

(単位：百万円)

営業損失 (△)	△ 122
営業外損益	218
経常利益	95
特別損益	△67
法人税等	83
非支配株主に帰属する 四半期純利益	60
親会社株主に帰属する 四半期純損失 (△)	△ 114

(単位：百万円)

営業外損益	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	増減額
受取配当金	90	97	7
支払利息	△ 24	△ 24	0
持分法投資利益	209	118	△ 90
その他	△ 2	26	29
合計	271	218	△ 53

(単位：百万円)

特別損益	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	増減額
事業再編損	-	△ 123	△ 123
投資有価証券売却益	-	64	64
投資有価証券評価損	△ 24	-	24
減損損失	-	△ 8	△ 8
合計	△ 24	△ 67	△ 42

連結貸借対照表

- 棚卸資産（流動資産）および借入金（流動負債）の残高が減少。
- 投資有価証券の時価上昇により評価差額金が増加。

（単位：百万円）

	2023年3月期	2024年3月期 上期	増減額
総資産	38,553	38,524	△ 28
流動資産	18,987	18,691	△ 296
固定資産	19,565	19,833	267
負債	21,598	20,958	△ 639
流動負債	12,532	11,688	△ 843
固定負債	9,066	9,270	204
純資産	16,954	17,565	610
負債純資産合計	38,553	38,524	△ 28
自己資本比率	41.2%	42.7%	-

キャッシュ・フロー

- 現金及び現金同等物の残高は前期末に比べ4億1千万円増加の31億8千1百万円。
- 投資活動によるCFのプラスの主な要因は、投資有価証券の売却。
- 財務活動によるCFのマイナスの主な要因は、借入金の返済。

(単位：百万円)

	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期
営業活動によるCF	△ 1,547	574
投資活動によるCF	△ 90	104
財務活動によるCF	1,046	△ 269
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 591	410
現金及び現金同等物の期末残高	2,737	3,181

本日の内容



- 2024年3月期上期 決算概要
- 2024年3月期通期 業績予想
- ESGトピックス
- 参考資料



2024年3月期 通期業績予想修正（連結）

- 海外市況の下落基調に加え、欧州・中国経済の停滞による需要下振れが継続すると想定し、通期業績予想を**下方修正**。

売上高	320 億円	営業利益	0 百万円
	当初予想額 370億円 当初予想比 Δ 13.5%		当初予想額 5億円 当初予想比 Δ 100.0%
経常利益	3 億円	親会社株主に帰属する 当期 純利益	1 億円
	当初予想額 9億円 当初予想比 Δ 66.7%		当初予想額 6億円 当初予想比 Δ 83.3%

2024年3月期 通期業績予想修正（連結）

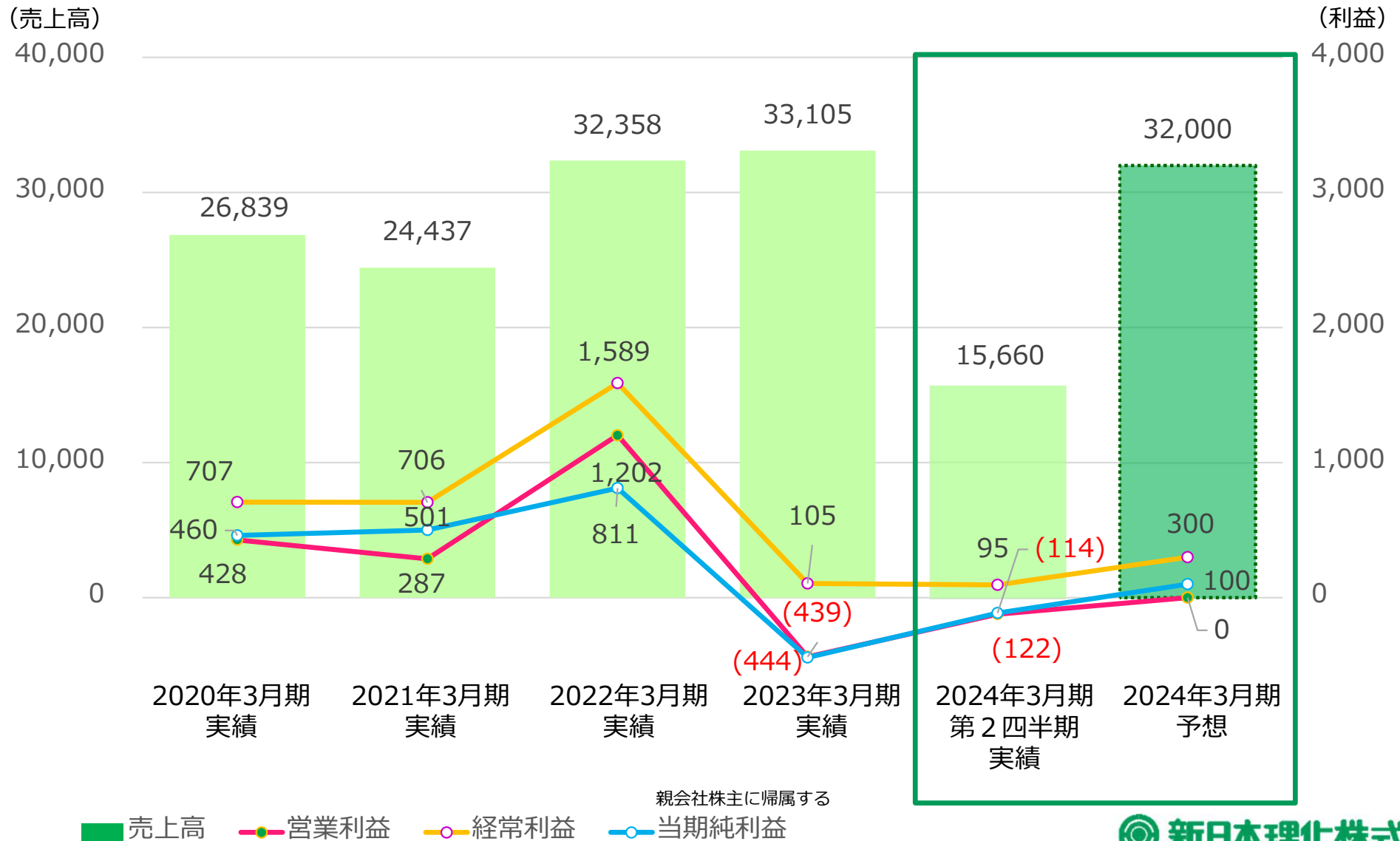
- 前年度比では、売上高△11億円、営業利益+4億円
- 期末配当は1株当たり5円、配当性向は186.4%を予定

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 (修正予想)	前期実績比較	
			増減額	増減率
売上高	33,105	32,000	△ 1,105	△ 3.3%
営業利益 (△は損失)	△ 439	0	+ 439	-
経常利益	105	300	+ 194	+ 184.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (△は損失)	△ 444	100	+ 544	-
期末配当金(円)	0円	5円	+ 5円	-
配当性向(%)	-	186.4%	-	-

2024年3月期 業績予想 (連結)

(単位：百万円)



収益体質 の改善

■ 事業ポートフォリオ見直しによる合理化

- 2024年3月末までに、スクラップ対象製品と注力すべきコア事業を選定し、事業再編に向けたロードマップを策定。

■ 人員規模・配置の最適化による固定費削減

- 現状の生産規模に応じて人員・生産シフトを見直し
- デジタル技術活用による省人化。事務作業にかかる人員コストを削減、付加価値の高い業務に人的リソースを配分。

■ 資産効率の向上

- 無形資産（知的財産）の創出・活用による収益化
- 遊休資産の整理・処分
- 政策保有株式の縮減

業績改善に向けた取組み（下期）

販売機会 の創出

- 既存製品の強みを磨き、市場・用途・顧客を拡大

ポリイミド／エポキシ樹脂原料「リカシッド TMEG」シリーズ

電子材料やEV向けの素材としてユーザー評価が進行中。

高純度品の安定生産に向け、製造・分析プロセスの革新を目指す。

- 環境価値を訴求し、自ら市場・用途の開拓を進める

結晶化促進剤「RIKACRYSTA」

バイオマスプラスチックとして注目されるポリ乳酸に対しても結晶化促進機能を発揮することを確認。環境意識の高いユーザーを中心にサンプルワークを展開。

- オレオ技術と原料調達の優位性を活かし、バイオ由来製品を拡張

– バイオマス可塑剤「グリーンサイザー」

– 100%バイオマス由来エステル油

– 化粧品向けエステル・アルカン「リカナチュラ」

石化製品の代替となるバイオマス由来製品のラインアップを拡充。

脱炭素社会実現のソリューションとして積極的に提案していく。

本日の内容



- 2024年3月期上期 決算概要
- 2024年3月期通期 業績予想
- ESGトピックス
- 参考資料



ESGの取組み（2020～2023年度）

	E	S	G
2020			<ul style="list-style-type: none">社外取締役比率1/3以上に
2021	<ul style="list-style-type: none">OSAKAゼロカーボン ファウンデーション参画100%バイオマス由来の エステルを開発可塑剤でバイオマスマーク 認定を取得	<ul style="list-style-type: none">在宅勤務制度導入、 フレックスタイム適用拡大健康経営優良法人に認定	<ul style="list-style-type: none">内部通報制度を改定執行役員の新評価制度を 導入
2022	<ul style="list-style-type: none">カーボンニュートラル達成 に向けた目標を策定グリーン電力、CNガスの 調達開始	<ul style="list-style-type: none">くるみん認定を取得大阪市「女性活躍 リーディングカンパニー」 に認定	<ul style="list-style-type: none">取締役会のスキル策定、 マトリックスを開示
2023		<ul style="list-style-type: none">人事評価制度を刷新	<ul style="list-style-type: none">女性取締役を1名選任

E（環境）：新日本理化のサステナブル材料

「第3回サステナブルマテリアル展」(2023年10月)に出展。
 当社のバイオ由来製品や省エネ貢献製品をご紹介しました。



◀ 展示会の様子
 ▼ 当社の展示内容 (一部)

100%バイオマス由来エステル油

バイオマス由来の脂肪酸とアルコールからつくられるカーボニュートラルな潤滑油

◆ 製品の特長

パーム油・パーム核油から得られる脂肪酸とアルコールを中心に使用した100%バイオマス由来のエステル油です。一般的なバイオマス由来エステル油が持つ**低温流動性での課題を克服**しました。石化由来の鉱物油やPAOと比べて、生分解性、耐熱劣性、粘度指数にも優れます。

◆ ラインナップ

低粘度から高粘度まで幅広い粘度帯のエステル油をラインナップしております。ご要望に合わせたエステル設計も可能です。

開発品No.	粘度 (mm ² /s)		粘度指数	流動点(°C)	引火点(°C)
	40°C	100°C			
SR905	7.43	2.29	124	-52.5	216
SR756	11.08	3.08	145	-37.5	238
SR924	23.80	5.31	167	-67.5	254
SR919	31.37	6.51	168	-65.0	266
SR922	41.92	8.13	172	-42.5	278

◆ イベントリー

開発品No.	ENCS (日)	TSCA (米)	EMECs (欧)	DSL/MSL (中)	KECI (中)	PECCS (中)	IECSC (中)	NZfsc (中)	TCSE (中)	AIC (中)
SR905	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SR756	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SR924	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SR919	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SR922	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

化粧品向け油性剤 リカナチュラ

相溶性と感触に優れた植物由来のエモリエント剤

植物由来のエモリエント剤でサステナブルニーズに応えます

パーム油等の植物由来原料を使用した油剤
 / 低揮発、低粘度、高相溶性
 / Δアカア、クレンジング、サンケア用途に好適
 / RSPO認証対応可能

◆ ラインナップ

開発品No.	INCI名	INCI名	INCI名	INCI名	INCI名	INCI名	INCI名	INCI名	INCI名	INCI名
I-1214	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate
I-0810	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate
I-0808	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate
I-0809	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate
I-0804	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate	Capryl Caprylate

◆ 基礎物性

開発品No.	粘度 (1%) (20°C)	粘度 (10%) (20°C)	粘度 (100%) (20°C)	凝固点 (°C)	引火点 (°C)
CA-1214	0.754	4.5	1,432	<-10	0
CE-0808	0.861	8.9	1,438	<-10	0.19
CE-0810	0.860	7.3	1,435	<-10	0.19
CE-0812	0.855	9.9	1,439	<-10	0.15
CE-1008	0.892	12.2	1,449	20	0.13
CE-0804	0.839	17.4	1,462	<-10	0.30

環境と人に優しい界面活性剤

医薬部外品・RSPO認証品*対応可能!

○ 新日本理化の「ALALA」シリーズを以て、パーム油に由来する界面活性剤に由来する成分は、必ずしも「CO₂削減」に寄与するものではありません。

○ OEM・ODM・PB
お客様のニーズに合わせて、ご要望に応じて、お見積りに対応いたします。

○ 販売先
ヘアケア/ボディケア
スキンケア/化粧品等

◆ 製品例

ALALAシリーズ
天然パーム油から生まれた人と自然への思いやり

Nature SOAP
天然植物由来の洗浄成分を使用した食器・調理器具用の液体せっけん

新日本理化株式会社

- 当社のサステナブル材料 (一例)
- ・ パーム由来の高級アルコール
 - ・ バイオマス可塑剤
 - ・ 100%バイオマス由来エステル油
 - ・ 植物由来のエモリエント剤 (化粧品用途)
 - ・ ポリオレフィン向け結晶化促進剤

S（社会）：人的資本のさらなる充実

	2022年度実績	現在の取組み	2025年度目標
D & I	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 :4.7% 係長職の女性比率:23.5% キャリア採用割合:40.6% 男性育休取得率 :42.9% 	<ul style="list-style-type: none"> 女性社員向けキャリア開発研修の実施 育休取得対象者と上長とのコミュニケーション強化 	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 :7.0% 男性育休取得率 : 100%
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 挑戦・変革・創造する力を培う新人事制度を導入 1on1による目標管理とキャリア支援 リーダー養成選抜研修 	<ul style="list-style-type: none"> コーチング研修の実施 選択型オンライン研修の拡充 新人事制度に基づく昇格審査 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な価値観・能力を持つSPICE人材が活躍する組織
健康経営	<ul style="list-style-type: none"> 健診受診率 :100% 再検査受診率 :80% 仕事にやりがいを感じる人の割合 :74.7% 	<ul style="list-style-type: none"> 保健師との保健指導面談 業務適正化による有給取得率の向上 エンゲージメントの定点観測 	<ul style="list-style-type: none"> 再検査受診率 :80%以上 保健指導受診率 : 100% 仕事にやりがいを感じる人の割合 :80%以上



Be the best SPICE!

～心躍る極上のスパイスになる～

キラリと光る唯一無二のスパイスで、
世界を健やかで豊かなものに、毎日を心ときめくものにしたい。

もの創りの会社、新日本理化は、
これからも広く社会の発展に貢献してまいります。

本日は、ご清聴いただきありがとうございました。

【お問い合わせ先】

新日本理化株式会社 経営企画部

<https://www.nj-chem.co.jp/>



本日の内容

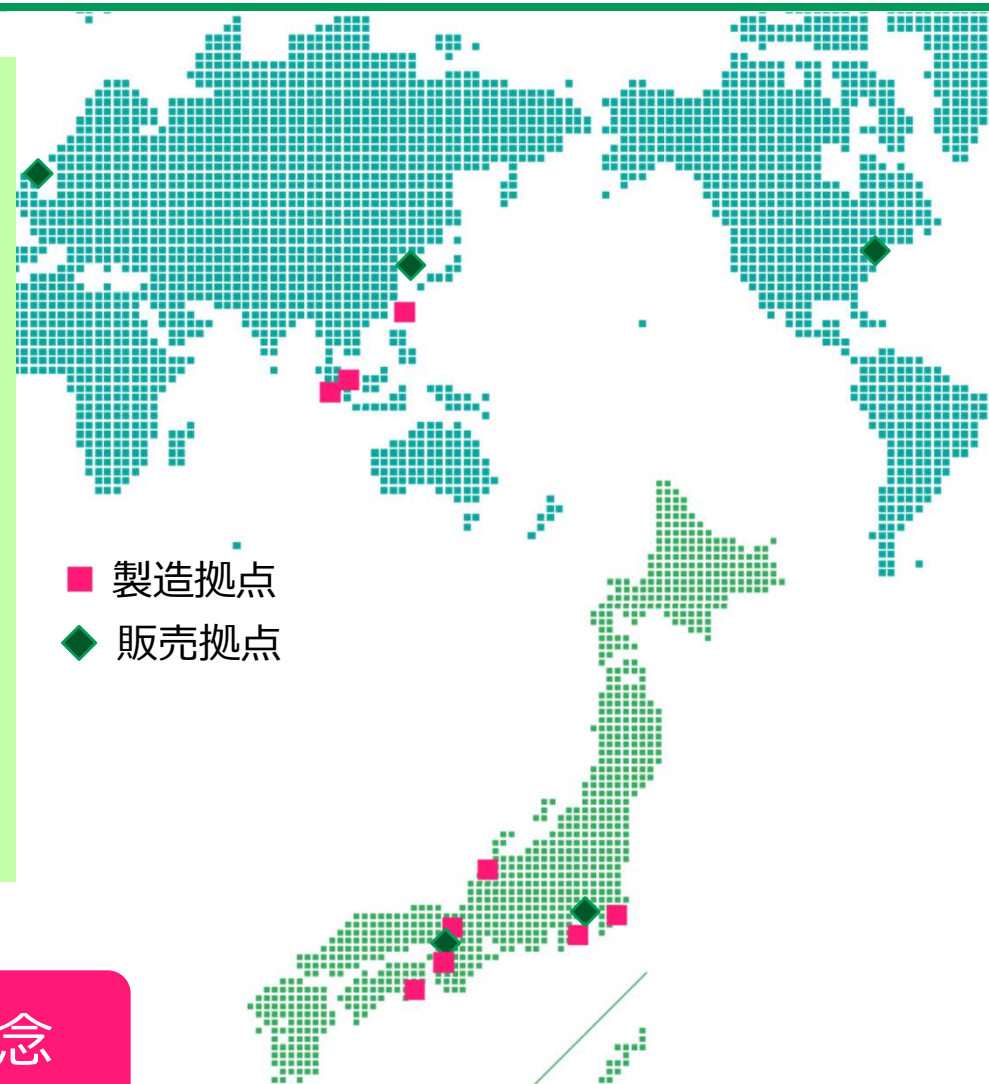


- 2024年3月期上期 決算概要
- 2024年3月期通期 業績予想
- ESGトピックス
- 参考資料



新日本理化株式会社

- 創業：1919年（大正8年）11月10日
- 資本金：5,660百万円
- 従業員数：426名（連結）[2023年9月末]
- 事業内容：化学製品の製造・販売
- 営業所：大阪（本社）、東京
- 工場：京都、徳島、川崎、堺
- 研究所：京都
- 関係会社：国内4社、海外6社



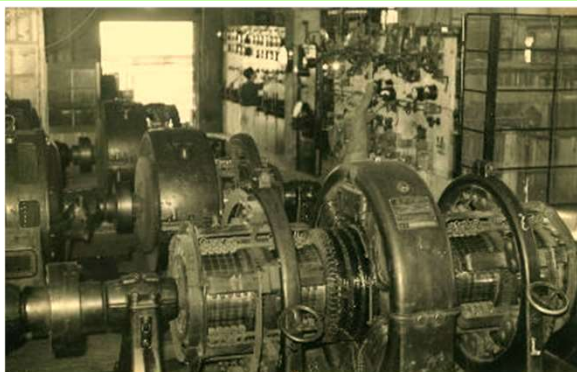
経営理念

私たち新日本理化グループは、もの創りを通して広く社会の発展に貢献します。

新日本理化のあゆみ

1920年

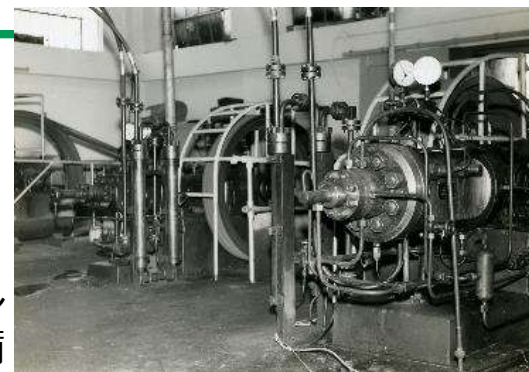
水の電気分解により製造した酸素ガスの販売を開始



創業時の直流発電機

1951年

高級アルコール製造設備



ヤシ油を水素化して高級アルコールを製造、可塑剤事業スタート

1961年

水素化技術を活用して無水コハク酸を製造（日本初）

1922年

魚油に水素を添加して硬化油を製造、今日につづく水素化技術の始まり



硬化油工場

新日本理化のあゆみ

1982年

ポリオレフィンの透明性を改良する結晶核剤を開発、機能性化学品事業に進出



ポリオレフィン製容器

2001年

HDDのモーター向けの潤滑油を開発



内蔵HDD

2022年

結晶化速度を大幅に改善した結晶核剤「RIKACRYSTA」を発売



RIKACRYSTA

2019年
創業100周年

1993年

植物系（ヤシ油・パーム油）の不飽和アルコールを開発



パーム油

2021年

バイオマス可塑剤「グリーンサイザー」を開発、バイオマスマークを取得



バイオマス
No.210315

バイオマスマーク

 **新日本理化株式会社**
Be the best **SPICE!**

当社の事業内容

原料

天然油脂
(ヤシ油、パーム油)

石油由来原料
(ナフサから
得られる基礎化学品)

製品分野 (主な製品)

オレオケミカル

アルコール
界面活性剤

可塑剤

耐熱性可塑剤
耐放射線可塑剤

合成樹脂原料

ポリエステル原料
エポキシ樹脂硬化剤

機能性化学品

結晶核剤 潤滑油
ポリイミド

主な使用分野

トイレタリー



化粧品



自動車



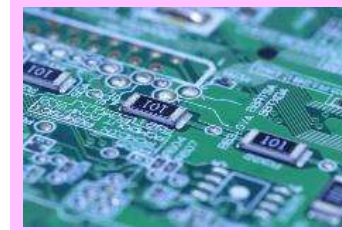
住宅設備



医療器具

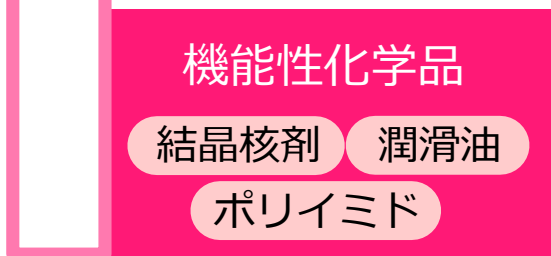
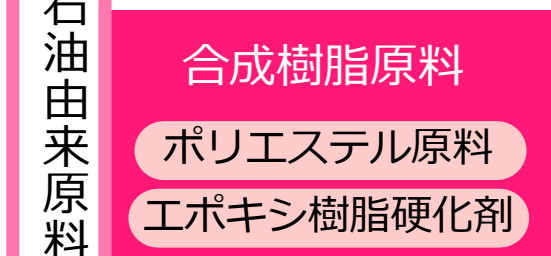
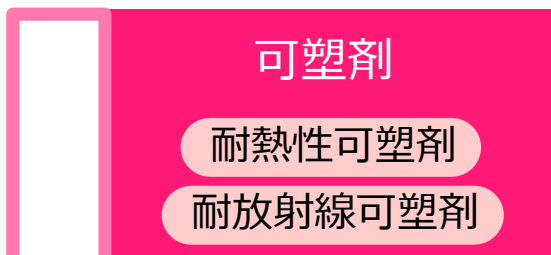
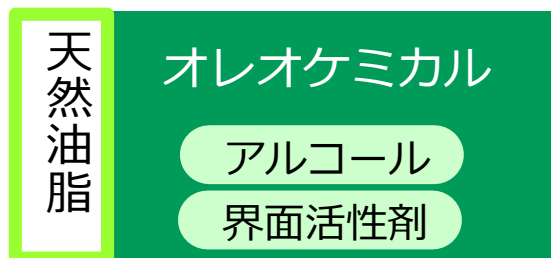


電子製品

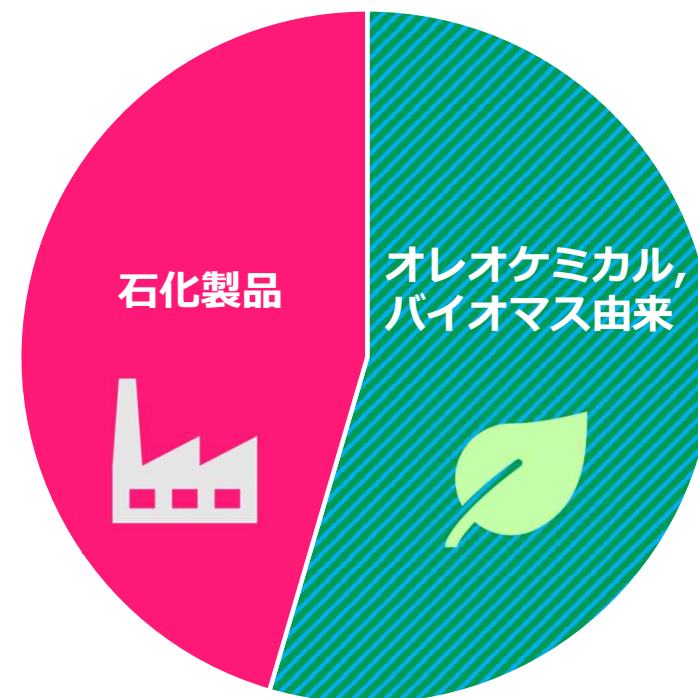
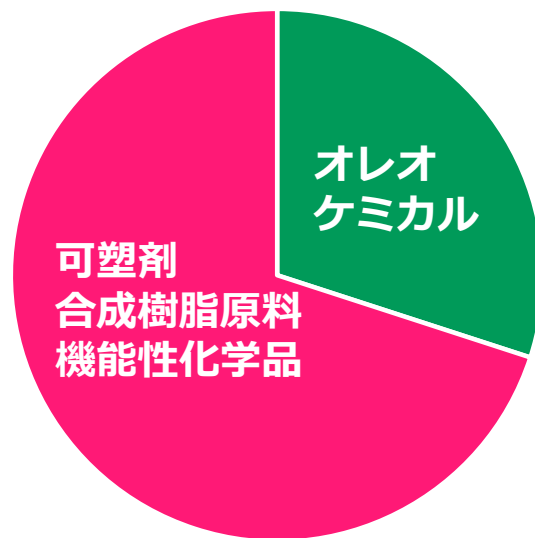


事業の構成割合

製品分野（主な製品）



製品の売上高構成



- バイオマス原料を用いた製品開発を加速。
- 2030年には、オレオケミカルとバイオマス由来製品で売上高の過半を占めるような事業構成を目指す。

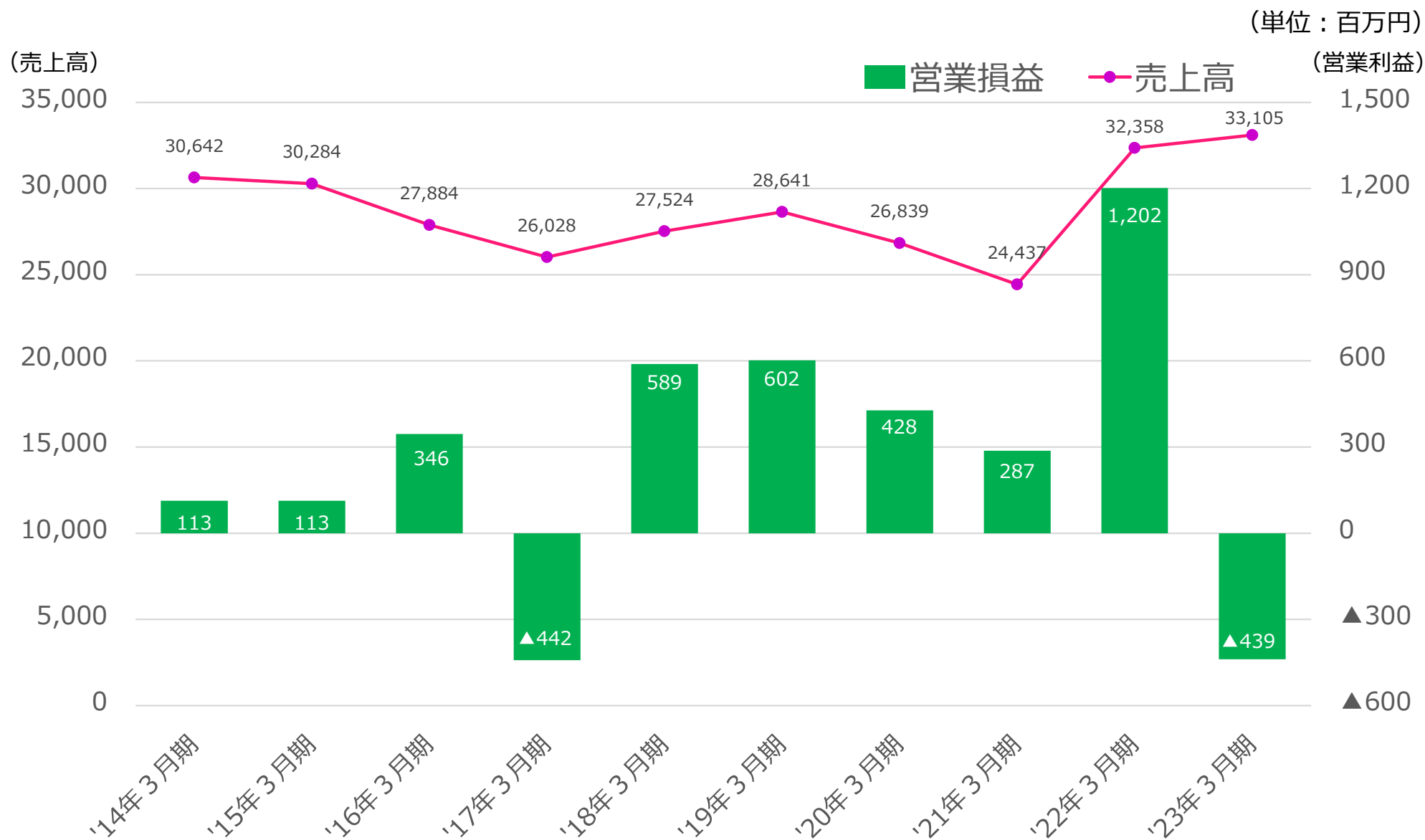
連結子会社紹介

会社名	所在地	議決権所有割合	事業内容
日新理化株式会社	千葉県 市原市	新日本理化 100.0%	• 当社製品である可塑剤、界面活性剤の製造
アルベス株式会社	大阪府 大阪市	新日本理化 100.0%	• 業務用洗剤等の製造および販売 • 当社製品を含む化学製品等の仕入販売
日東化成工業株式会社	神奈川県 横浜市	新日本理化 55.0%	• 金属石鹼、塩化ビニル用安定剤等の製造および販売
NJC Korea Co., Ltd.	大韓民国	新日本理化 100.0%	• 当社製品の韓国向け販売

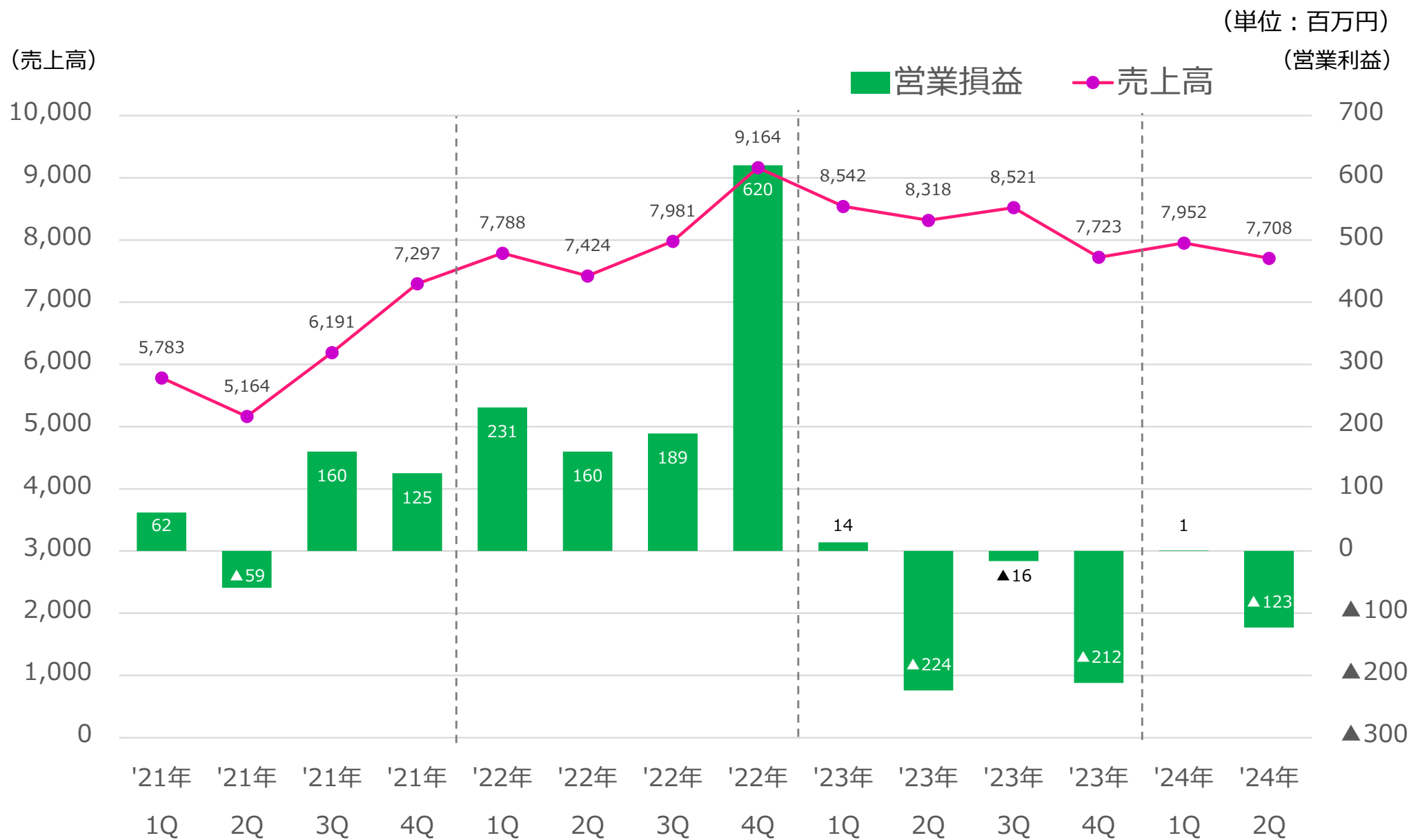
持分法適用会社紹介

会社名	所在地	議決権所有割合	事業内容
Edenor Oleochemicals Rika(M)Sdn. Bhd.	マレーシア	新日本理化 25.0%	• 天然脂肪族アルコールの製造および販売
台湾新日化股份有限公司	台湾	新日本理化 43.7%	• 各種界面活性剤の製造および販売
NJC Europe Ltd.	イギリス	新日本理化 100.0%	• 当社製品を含む化学製品の販売
Nice Rika Biotechnologies Sdn. Bhd.	マレーシア	新日本理化 30.0%	• 界面活性剤の製造

連結業績の推移

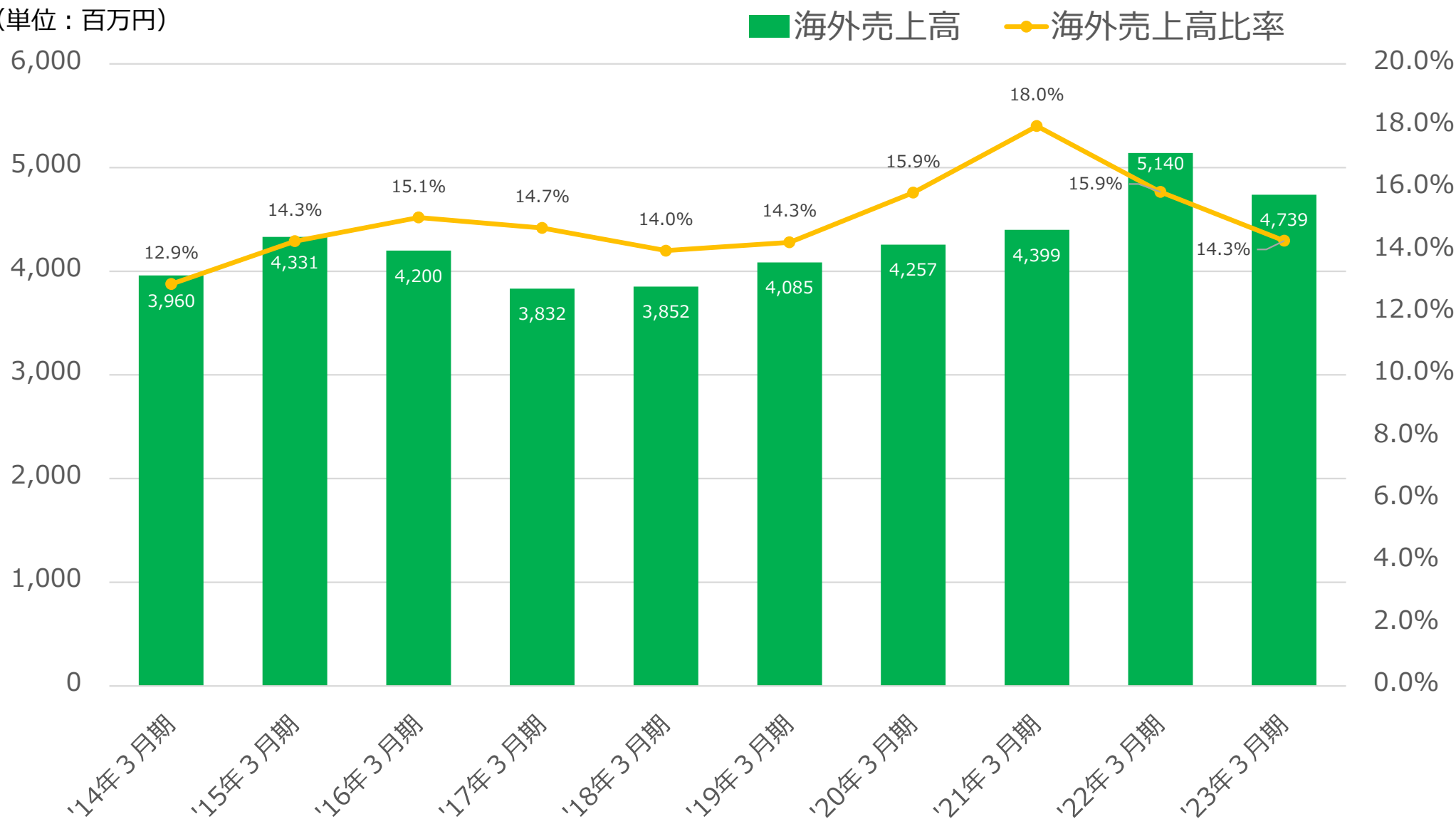


連結業績の推移（四半期）

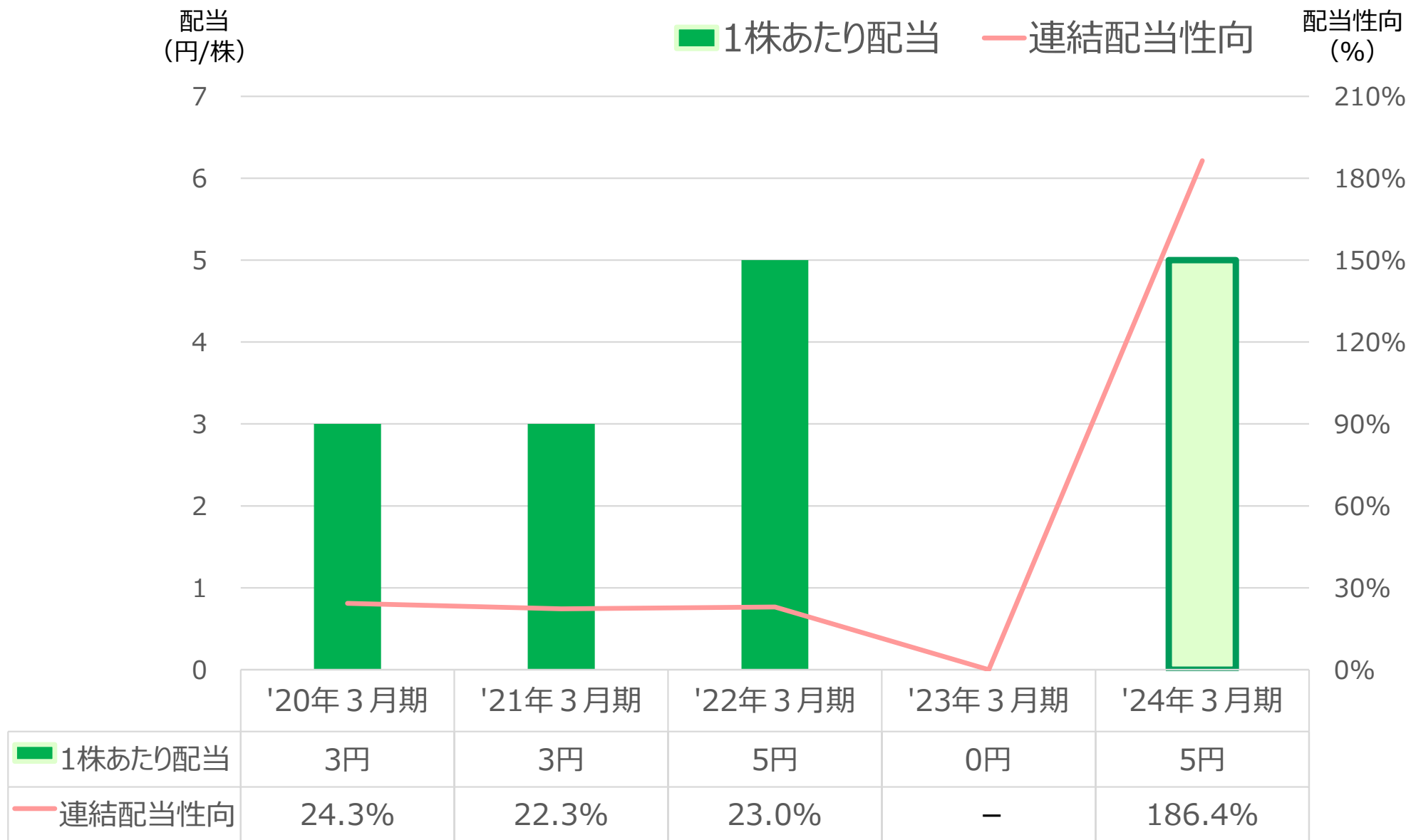


連結海外売上高の推移

(単位：百万円)

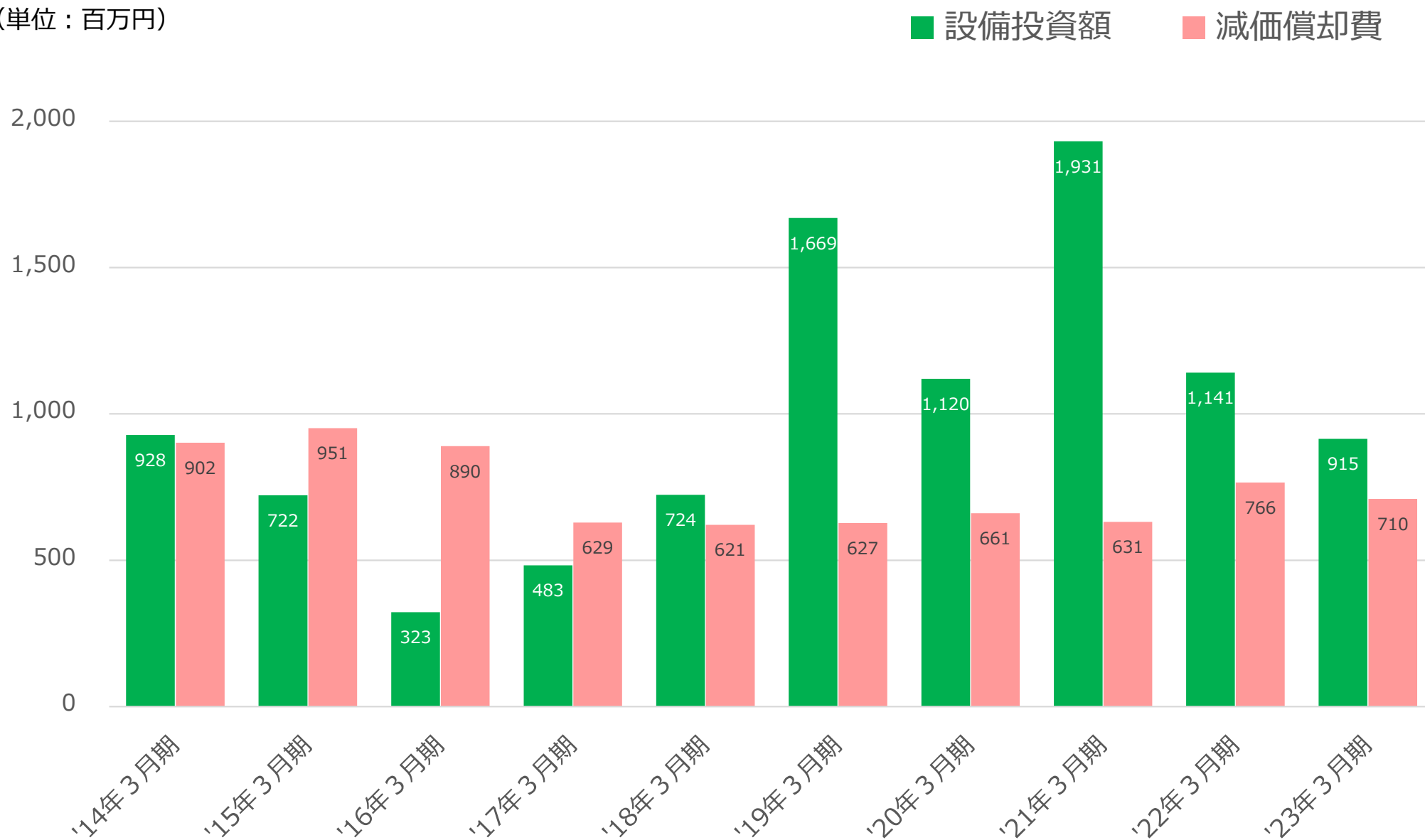


配当について



設備投資と減価償却費の推移（連結）

(単位：百万円)





新日本理化学株式会社



Be the best **SPICE!**

<見通しに関する注意事項>

- 本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。
- したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。